



まきのほら

教育委員会だより

家庭と地域で子どもを育てる「市民のつどい」を開催します

【日時】7月27日(日)13時～(開場12時30分)【会場】相良総合センター「い〜ら」

「わたしの主張2014」作文コンクール 市内応募作品から優秀賞決定 表彰と発表



青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が7月27日に、相良総合センター「い〜ら」で開催されます。

第一部では、中学生の「わたしの主張2014」作文コンクールの入賞者4人の表彰と、それぞれの作文が発表されます。

優秀作品を受賞した生徒を紹介します。



チャンスをしっかりつかむ

寺尾 彩さん

(相良中3年)



周囲の人は進化しているのに、私だけ一人取り残されている…そんな私の今の不安は『手紙』という曲の「負けそうで泣きそうで消えてしまいたい」という歌詞と重なり、共感しました。

そして、この曲は、常に自分を信じ続けることが大切であることを気付かせてくれました。

私は今まで、部活や勉強で逃げることでありましたが、それは夢を叶えるチャンス逃していることだと気付きました。今までに逃した分までしっかり取り返して自分の夢を絶対に叶えたいです。



上回るもの

若林 莉玖さん

(御前崎中3年)



体育大会でブロック長を実際にやってみるまで、大勢の人をまとめることの大変さを知りませんでした。みんなに後押ししてもらいブロック長を務めたことで、リーダーとして大勢をまとめることは、決して簡単ではないことを実感しました。

不安や緊張で自信を無くし、途中でやめてしまいたいと思うこともありましたが、みんなが一つにまとまったときの喜びや達成感、それをほめるか上回るもので、この経験は僕の最高の思い出、自信になりました。

ふるさと大好き、牧之原

角替 真樹さん

(牧之原中3年)



牧之原台地は、日本一の緑茶の産地として有名です。しかし今後、茶葉の生産や消費、お茶農家の減少により、大好きな牧之原のお茶が少なくなることが不安です。

日本の伝統文化でもあるお茶の歴史を絶対に止めてはいけません。是非、急須でお茶を入れてください。

私が将来この牧之原から離れたとしても、急須でお茶を入れて飲むことで、心豊かに日々の生活を送っていることでしょう。

コミュニケーションの底に流れる物

加藤 汐里さん

(榛原中3年)



私には大好きな英語を生かして、国際人として羽ばたくという夢があります。

オーストラリアでのホームステイで体験した、優しい笑顔と温かいハグで迎えてくれたホストファミリーや、いつも私の目を見て心をこめて話し、常に支えてくれたバディとの出会いが、コミュニケーションに不安があった私の自信になりました。

相手の目をしっかり見て心をこめて話し、聴く…この気持ちがあれば、どんな国の人も話せ、さらには心も通じ合えると思は信じています。



第一部では、記念講演会が行なわれます。

演題

『子育てが笑顔3倍

ストレス1/3になる究極のコツ』

〜7日間子どもの個性を

120%輝かせる楽しい実践法〜

講師

人生キャリアナビゲーター

いむらきよし氏

※入場には整理券が必要です。

社会教育課(相良庁舎3階)

相良公民館、榛原文化センター

にて配布しています。

教育委員の挨拶



牧之原市教育委員長 大石 幸雄

これからは夜でも暖かくなります。外に出て直接自分の目で星を見てみましょう。身近な昆虫や草花などの観測も、美しい写真やテレビ等の映像は大切な資料です。しかし自分の目で直接レンズを通して見た像は、小さくても数百光年、数千万光年という宇宙の広大な空間と時間を超えてやってきたものです。そのかすかな光は大変魅力的で、その神秘的な映像は一生忘れられません。星を見るには明かりの無い暗いところがよいので家の人と一緒に楽しんでください。

星の観測というとすぐに望遠鏡が必要かと思いますが、双眼鏡があれば充分楽しめます。まず月や天の川の宇宙を見れば、きっと素晴らしい発見ができます。私も、小学生時代に父に作ってもらった望遠鏡で見た天体は、今でも鮮明に記憶に残っています。

今、理科の勉強の必要性が言われていますが、どんな観測も自分の目で、又自分の意思で少しずつ長く観察することが、なにより大切なことだと思います。

牧之原市菊川市学校組合教育委員長 森 順子

牧之原市菊川市学校組合教育委員の役を頂いて4年目になりました。この4年間は新鮮で素晴らしい経験をさせていただいております。

牧小、牧中の子どもたちは大きな声で挨拶をしてくれます。牧小の季節ごとのコンサートはとても感動するものでした。学校給食運営委員会では、アレルギーの子どもに対する栄養士さんの配慮を知り、頭が下がります。学力調査は、テストだからと子どもを追い詰めず、日々の授業で理解させ、向上を目指すという教育長のお言葉には、先生方への信頼が現れていると心強く感じました。残りの任期もあとわずかとなりましたが、最後まで、子どもたちのより良い成長に寄与するためにも、精一杯頑張りたいと思います。

教育長 坪池 洋

教育長に就任して半年が経過しました。教育委員会の多岐にわたる事業が滞りなく進むことを願いつつ、職務に取り組んでいます。

本市に限らず、今、教育界は多くの課題を抱えています。学校教育においては、子どもを取り巻く環境の悪化やいじめ問題、学力問題等、対応を迫られる内容が突きつけられています。社会教育では、少子高齢化や人口減少から生涯教育活動の推進が一層求められるにもかかわらず、各種活動への参加者の減少や固定化・高齢化が大きな悩みとなっています。

一方、目を転ずれば嬉しい話題にも事欠きません。この職について初めて知ったことですが、市内には実に多くの方々他者のために活動してくださっておられます。市の各委員会や審議会の委員をなさっている方をはじめ、市民の安全や環境美化に尽力されている方、子どものために力を貸してくださっている方、ボランティア活動と銘打っているものもあれば、ささやかに個人的な働きとしてさりげなく取り組んでおられる方など、さらには市役所や学校や図書館などにお茶・花・図書などを寄贈して下さる方もあります。

このように人のために取り組まれる方がいることは大いに力づけられます。よし、がんばろうと思う毎日です。

スクールチャレンジャー

～特色ある校外活動のススメ～

牧之原小学校～おいちゃんおばあちゃんが先生に～

牧之原小学校は、「おらが町の牧小」として、多くの地域の方々から支えられ、愛されています。子どもたちは、総合的な学習・生活・体育の授業などで、おいちゃんやおばあちゃんに組織している「祖父母の会」のみなさんから、さまざまな体験を通して地域のことを学んでいます。



【感謝の気持ちをこめて】

は、みんなで芋汁をつくって食べます。地域ぐるみの食育です。

その他、高学年では、グランドゴルフの競技方法を教えてもらい、一緒に競技をしたり、低学年では生活科で、ビー玉、お手玉、竹とんぼ、あやとりなど、昔からある遊びの楽しさを教えてもらったりしています。

学校で行われる様々な行事にも、毎回50人を越えるおいちゃんやおばあちゃんが来てくれ、応援してくれることが子どもたちの励みになっています。

子どもたちは、おいちゃんおばあちゃん先生からいろいろなことを学び、たくさんかわることで、地域への愛情や愛着、周りの人を大切にする気持ちが育っていきます。



【実際に見て触れて、学びを深めます】

牧之原市の偉人 シリーズ 第2回!

牧之原市が生んだ偉人たちを特集するシリーズで、各号ごと2名ずつ紹介していきます。第2回は新しい手もみ茶のつくり方を考えた「橋山倉吉」と「戸塚豊蔵」です。



手もみ製茶を変えた天才 橋山 倉吉

橋山倉吉は、明治2(1869)年に現在の牧之原市細江で生まれました。倉吉は11歳のとき、茶工場で製茶の仕事をするようになります。負けず嫌いで研究熱心な性格だった倉吉は、どうしたら形も味も良いお茶ができるのか、考えるようになりました。

ある日、お寺でそば打ちの様子を見ていた倉吉は、麺がくっつかないよう上手にほぐす和尚さんの手つきに興味を覚えます。そばのほぐし方を手もみに応用できないか、倉吉は工夫に工夫を重ねます。

そして、わずか14歳のとき、考え出したのが転繰法(でんぐりほう)というもみ方です。さらに、この方法で作ったお茶が掛川の茶業組合から優れていると認められ、「倉開流(そうかいりゅう)」と名付けられました。倉吉は静波に教室を開き、全国から集まった若者に指導しました。

戸塚 豊蔵 深蒸し茶の元祖



戸塚豊蔵は、嘉永5(1852)年に現在の牧之原市白井で生まれました。幼くして大江の茶部屋へ働きに出た豊蔵は、どうしたら茶葉の品質をもっと良く出来るのか考えるようになります。そして、川根で修行を重ねた豊蔵は、そこでの経験をもとに誘進流(ゆうしんりゅう)というもみ方を考えました。

これは、茶葉を蒸す時間を長めることで(深蒸しして)、子どもでも出来るくらいの力加減でもむ方法です。これにより、苦みの少ないまるやかで美味しいお茶を作れるようになりました。そのため、豊蔵は深蒸し茶の元祖の一人とされています。

また、明治38(1905)年には、全国ばらばらだった手もみ茶のつくり方を統一し、各流派の良い点を取り入れた38年式製茶法を生み出すことにも協力しました。

インフォメーション

市内小中学校のトイレ洋式化を進めます

市では、平成26年度から4箇年で市内小中学校のトイレ洋式化を進めていきます。

昨今、ほとんどの家庭が洋式トイレであり、児童生徒の学校生活でも洋式トイレの利用が増えています。

また、市内小中学校は万が一の自然災害等に備え、避難所に指定されていることから、市民の避難施設としての利用も考慮し改修を決定しました。

なお、各学校のトイレ総数に対して約75%を洋式化する計画です。

平成26年度の施工場所は川崎小、菅山小と牧之原小です。

〈お問い合わせ〉
教育総務課 電話:53-2642



小学校3、4年生用社会科副読本を改訂します!

小学校では、3年生から社会科の授業が始まります。市教育委員会では、3、4年生に地域のことを子どもたちに知ってもらうために、「わたしたちの牧之原市」という副読本(教科書を補助する物)を作成しています。

副読本には、牧之原市の概要や商工業、水道、ごみ、安全対策、歴史といった内容が盛り込まれていますが、現在使用している副読本の内容が現状にそぐわなくなったため、今回改訂することになりました。

改訂作業に伴う検討会は、全3回の開催を予定していて、学校の先生と市の各分野の担当者が、テーマに分かれて子どもたちに知ってもらいたい内容を検討しています。

平成26年度末の完成を目指し、がんばります!



図書館「夏休みおはなし会」を開催します



市立図書館では、夏休みおはなし会を相良図書館と榛原図書館でそれぞれ2回開催します。おはなし会では、テーマに沿った絵本の読み聞かせや工作を行います。8月7日(木)は、工作の特別講師として、相良高校の科学部のみなさんが来ます。

参加料は無料で、どなたでも参加できます。ご家族やお友達をお誘いの上ぜひご参加ください。

【相良図書館】
8月7日(木) 午前10時～午前11時
8月19日(火) 午前10時～午前11時
会場:相良保健センター2階 集団検診室

【榛原図書館】
8月6日(火) 午前10時～午前11時
8月21日(木) 午前10時～午前11時
会場:榛原文化センター2階 和室

【参加方法】
事前申込みは必要ありません。
当日、開始5分前までに図書館へお越しください。

【問い合わせ】
社会教育課 電話:53-2646



【相良高校科学部による工作の様子】



わが校・わが園じまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



地頭方小学校

「好きです地小 やっぱり好きです地頭方」



【はじめての田植え】



【泥だらけで頑張ります！】

地頭方小学校の「かがやきタイム（総合的な学習の時間）」のテーマは、「好きです地小 やっぱり好きです地頭方」です。3年生は「地域・人」、4年生は「環境・福祉」、5年生は「米作り」、6年生は「国際理解」の各課題について、自分たちの身近な地域での豊かな体験活動を行うことで、自ら課題をもち、解決の見通しを立てて、いきいきと課題を追究しつづける子を目指しています。

5年生の「米作り」は、地域の学校支援団体「末広会」と「野菜の先生」（増田文博様）の御支援を受け、「田んぼの学校」として、年間を通して地域と密着した活動を行っています。今年度すでに、「塩水選」（よい種

え）を行いました。代掻きでは、最初、恐る恐る田んぼに足を踏み入れた子どもたちですが、すぐに泥んこになって走り回っていました。田植えでは、末広会と野菜の先生の指導を受け、一苗一苗丁寧に植えることができました。今後「除草」などの作業を経て、7月の「かかしコンクール」、9月の「稲刈り」「脱穀」「粃すり」、収穫した米を使っの「餅つき」、藁を用いての「しめ縄作り」、「どんど焼き」と、「田んぼの学校」の一年間が展開していきます。地域の方々が伝承している「米」を中心に据えた伝統行事や農作業を通して、稲作文化や食について体験的に学ぶとともに、「やっぱり好きです地頭方」と言える子どもたちが育っています。

勝間田小学校

「体験活動と表現活動の充実」

本校は、三方を山に囲まれ、南に田園地帯が広がる自然豊かな環境にあり、全校児童 139 名の小規模校です。

①「勝間田きらり農園」での野菜作り
地域の方の指導や支援を受けて、各学年ごと様々な野菜を育てています。収穫した野菜は、自分たちで調理して食するだけでなく、地域の施設に寄贈したり、家に持ち帰って家族と一緒に調理をしたりしています。施設の方や家族から喜ばれたり、地域の方から野菜を褒められたりすることで心も耕されています。おかげで本校には、野菜の苦手な子はほとんどいません。

②「リズム縄跳び」での体力作り
音楽に合わせて様々な技を表現する縄跳びに全校で挑戦しています。レベルが 20 段階に設定され、最終段への挑戦は、昼休みに全校児童の前で行います。体力だけでなく、精神的な強さも磨かれています。20 段合格のジャンプ王には、メダルが授与されます。

今後も、小規模校ならではの良さを生かし、子どもたちが様々な活動やかかわりをとおして、学び合う楽しさや競い合う楽しさを実感し、自分を表現しようとする自信を育てていきます。



【早く大きくなーれ！】



【集中!集中!みんな元気張れ！】

〈編集後記〉

中学生「わたしの主張2014」作文コンクールの入賞者の皆さん、おめでとうございます。毎年「市民のついで」で市内、そして全国の優秀作を読ませていただくのを楽しみにしています。作文のテーマは一人ひとり違っていて、様々な視点から物事を眺めているものだといつも感心させられます。口から発した言葉はどんどん消えていってしまいます。“想い”を文章にしていけることを大切にしていきたいですね。

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください
教育委員会だより編集委員会
電話：53-2642 FAX：53-2657

編集委員長 澤田 衛

〒421-0592 牧之原市相良 275
E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp

～ 祝日には国旗を揚げましょう